

体育科学学位プログラム 体育スポーツ文化社会学コース（博士前期課程）								
養成する人材像	体育スポーツに関する幅広い学識ならびに専門知識を習得し、体育スポーツの高度な指導力を有する指導者ならびに体育スポーツに関する専門知識と研究能力をもった高度職業人の養成を目的とする。特に、スポーツ文化社会学に関する体系的専門知識を修得し、スポーツをめぐる社会的課題を理論的に分析する能力を養成する。							
教育研究の特徴	<p>博士前期課程は、スポーツを文化現象として総合的に理解し、その歴史的形成過程、思想的基盤、社会構造との関係、地域的・民族的多様性等を多角的に分析する能力を養成することを目的とする。</p> <p>近年、スポーツは健康、教育、地域社会、国際交流等の諸領域において重要な役割を担う一方、商業化の進展、倫理問題、テクノロジーの高度化等に伴う新たな課題も顕在化している。本課程は、これらの現代的課題を理論的かつ実証的に分析するための基礎的研究能力および高度専門知識の修得を図るものである。</p> <p>本課程においては、以下の能力を備えた高度専門職業人および研究基礎力を有する人材を養成する。スポーツ文化に関する体系的知識を有し、社会的課題を理論的に整理・分析できる能力実証的研究方法を用いてデータを収集・分析し、客観的に論証できる能力、教育機関、行政機関、スポーツ関連団体等において専門的知見を活用し得る実践的能力。</p> <p>本課程では、以下の研究領域を中心に教育研究を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時間軸に基づく歴史的研究（スポーツ史） 2. 民族的・地域的視座に立つ人類学的研究（スポーツ人類学） 3. 思想・哲学的基盤を探究する研究（スポーツ哲学） 4. 体育・スポーツの社会的機能および制度的課題を分析する研究（スポーツ社会学） 5. 伝統文化の視点から身体運動文化を探究する研究（武道学） 							
修了後の進路	大学博士後期課程への進学／中学校・高等学校教諭（保健体育）／大学・短期大学・専門学校等における助手・助教等の教育補助職／研究機関における研究補助職／スポーツ競技団体制員／スポーツ関連機関職員／スポーツ関係企業人など							
科目区分	1年次		2年次					
	前学期	後学期	前学期	後学期				
大学院共通科目 （必修）	身体総合学術論	2						
研究群共通科目 （必修）	研究報告演習Ⅰ	2		研究報告演習Ⅱ	2			
基礎科目 （選択）	スポーツ史特論	2						
	スポーツ人類学特論	2						
	スポーツ哲学特論	2						
	スポーツ社会学特論	2	武道学特論	2				
他学位プログラム・コース科目								
専門科目 （選択）			スポーツ史特論演習	2				
			スポーツ人類学特論演習	2				
			スポーツ哲学特論演習	2				
			スポーツ社会学特論演習	2				
研究指導科目 （必修）	体育科学研究Ⅰ	1	体育科学研究Ⅱ	1	体育科学研究Ⅲ	2	体育科学研究Ⅳ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、30単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 共通科目: 4単位</p> <p>(3) 基礎科目: 所属コースの科目から8単位以上</p> <p>(4) 専門科目: 所属コースの科目から2単位以上</p> <p>※研究指導教員が担当する科目は必ず選択する。</p> <p>(5) 基礎科目及び専門科目を合わせて18単位以上</p> <p>※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる。</p> <p>(6) 研究指導科目: 体育科学研究Ⅰ～Ⅳの6単位</p> <p>※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>							
修了要件	2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。							
その他の学修・研究	学会発表		中間発表会 学会発表			修士論文作成 修士論文審査 最終試験 最終発表会		